

6月定例議会から

平成15年第4回定例村議会は、6月12日から20日までの日程で行われました。

一般質問は16、18日に行われ12人の議員が村政の重要な課題について村側の考えをたえました。議案審議は20日に行われ、

追加議案3件を含む14の議案について慎重な審議の結果、原案どおり可決されました。

今議会に提出された議案の概要は以下のとおりです。(紙面の都合で、内容は省略されています)

平成15年度 一般会計補正予算

既定予算の総額に1、879万6千円を追加、歳入歳出予算の総額を40億479万6千円としました。

歳出の主な内容は、総務費・までのいな暮らしと共に考える集い補助金150万円、農林水産業費・農業振興事業補助金200万円、農の大地活性化事業原材料費に297万7千円、山村振興農林漁業特別対策事業消耗品費に640万円、商工費・

商工会商品券発行事業補助金166万円等です。

平成15年度国保 特別会計補正予算

事業勘定の既定予算の総額から1、366万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を7億6、333万5千円に、診療施設勘定の既定予算の総額に22万円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億22万円としました。

歳出の主なものは、保険給付費1、207万2千円、介護納付金159



▲6月議会のようす

円、一般会計繰出金1、818万5千円の追加です。

15年度介護保険 特別会計補正予算

既定予算の総額に292万円を追加、歳入歳出予算の総額を3億4、709万6千円としました。

歳出の主なものは、介護給付費準備基金への積立金183万4千円、精算による返還金108万6千円の追加です

地域資源活用総合 交流施設設置条例

あいの沢に建設中の地域資源活用総合交流施設が6月30日で竣工するため、本施設の設定及び管理に關し必要な事項を定める条例です。

使用料条例の一部 を改正する条例

ステキーハウス及びきこりの使用料について、現在、飯館楽園株式会社に運営を委託していることから使用料の規定が不要となったため、その使用料を削除するものです。

手数料徴収条例の 一部を改正する条例

住基ネットワークシステムの第2次稼働に伴い、村民の希望で住民票の写しの広域交付、身分証明書等として利用することが出来る「住民基本台帳カード」の交付手数料を定めるものです。

国民健康保険税 条例の一部を 改正する条例

国保税、及び介護納付金課税額の税率等の改正です。

過疎地域自立促進 計画の変更について

一般被保険者の一人当たり保険税を5万6千922円、介護納付金を1万8千604円としました。

重度心身障害者医療費 の給付に関する条例の 一部を改正する条例

すべての医療保険で、本人、家族等の負担割合が3割に統一されたこと等に伴う改正です。

企業立地支援条例の 一部を改正する条例

企業立地支援について、村有地の貸付料を10年間無償とする村有地について、村が企業立地を目的に借り受けている場合について村有地とみなし、支援要件を緩和し一層の企業誘致を図るための条例改正です。

平成15年度大火比曽 線道路改良工事請負 契約について

6月16日、7社による指名競争入札の結果、株式会社英工務店が落札したので、その請負契約について議決を求めるものです。契約金額は7、980万円です。

土地の取得について

老人福祉施設「やすらぎ」の敷地取得、及びあいの沢全体の公園化のため

めの土地取得について、協議がまとまったので、議会の議決を求めるものです。

諮問

人権擁護委員の候補 者の推薦について

佐藤隆明さん（飯樋字宮仲97番地）をひき続き人権擁護委員として推薦するため、議会の意見を求めるものです。

報告

平成14年度一般会計 繰越明許費繰越計算書

繰越明許費として平成15年度に繰越した予算▽民生費4億8、847万7千円▽農林水産業費で1億437万7千円、▽土木費1億5、950万円、教育費で7億2、434万2千円。

村長村政報告

（紙面の都合で、内容は省略してあります。）

表彰式

5月8日、平成15年度飯舘村表彰式典を公民館で行い、村政進展と民生の安定のために、ご尽力いただいた方々4人を表彰しました。改めてその功績を称え、感謝を申し上げると共に、今後尚一層のご活躍をご期待申し上げます。



▲表彰式のようす

合併問題

国の地方制度調査会は、中間報告の焦点だった地方交付税削減や自治体の人口要件など、合併をしない小規模町村への「ムチ」は明示せず、11月の最終答申に結論を先送りしました。

一方、中間報告では、合併後の自治体内に旧市町村単位の「地域自治組織」を置くことや、合併に絡む知事の権限を強化すること等を規定した新法で、合併を推進することを求めています。

身近な自治を担う「地域自治組織」については、「組織の長の公選を認めるなど、何のための合併か分らない」との意見もあり、最終答申に向けて、相馬地方の状況は、任

意合併協議会を現在まで3回開催。第3回目は、6月8日に開催され、相馬地方市町村合併検討報告書と相馬地方市町村の課題を検討しています。今後も協議を重ね、7月11日の会議で一定の方向性を出す予定です。

村でも、相馬地方任意合併協議会の結果を受けて、今後の対応をしたいと思っています。

第5次総計画策定

第5次総合振興計画の基本理念に「MADAY LIFE(マデライフ)」



▲第5次総全体説明会

を掲げ計画を策定中です。

第5次総は村の基本計画の専門分野別計画を縦糸とし、地域の実践計画である「やるきつながりプラン」を横糸としながら、それらが織り成す村の総合計画にしたいと考えています。6月6日には「やるきつながりプラン全体説明会」を開催しました。(記事22ページ)

第4次総の地区別計画は、20行政区が競争していた感がありましたが、第5次総では複数行政区が「連携」をして、目的に応じた新しい枠組みの地域づくりを進めたいと考えています。その内容は「つながり支援事業」と「ちいきくらしあっぷ支援事業」の2つを柱としています。

これらについては、6月19日から27日までに地区説明会を開催しました。(記事22ページ) また、7月3日には本計画の縦糸となる第2回の第5次

総中間報告フォーラムが開催されています。

さらに、12月6・7日は福島県知事の佐藤栄佐久氏と女優の高木美保氏を招いて「飯館村からのスローライフ提案」までいな暮らし」をともに考える集い(仮称)を予定しており、飯館村から人間本来の生き方、暮らし方を発信して、「まていな暮らし」を共に考える集いにしたいと、準備を進めているところです。

いたて夏まつり「スローライフINいたて」

今年の夏まつりは、8月9日(土)、あいの沢を会場に開催予定です。

「交流」と「牛肉の消費拡大」に加え、第5次総の「マデライフ」と、食と農にこだわった「田舎暮らしの良さ」をPRします。

内容も、「牛肉フェス



▲昨年の夏まつりのようす

農業

春から雨の少ない状態が続き、水不足により田植えの遅れが心配されました。一部の地域で1週間程度遅れましたがその後の生育は順調です。

5月の連休前後に連続して霜注意報が発令され、一部降霜により移植直後のブロッコリーに被害が発生し、植え直した箇所もありました。葉タバコについては、定植の初期だったため大きな影響もなく、生育は順調に進んでいるものと思われま

水田農業経営確立対策

本村の生産調整は前年より29・85畝増加し、510畝の割り当てを提示されましたが、各行政区を通じ提出された転作計

ティバル」などを実施しながら、20行政区が主体となった「ふるさと自慢コーナー」「特産品直売コーナー」「盆踊り大会」等も盛り込んでおり、村あげての夏まつりにしたいと考えています。

予算も今年から県の「地域づくりサポート事業」が該当になり、県から年間300万円が3年間補助される見込みです。

画を集計した結果、550 ㍊となり、率にして107・8%の達成率になる見込です。

超過面積40 ㍊については、JA そうまを通じ、他の未達成町村との地域間調整をして頂くよう申し込みをしています。

また、13、14年度における超過達成にかかる国県からの各種助成金による保留金の使途については、村生産組合が主体となり、米に代わる作物の振興などの財源として活用するため、基金として積み立てていました。今年度より、原資が不足する村の活性化基金に代わり振興作物、及び団地形成作物に対して引き続き助成することが先の水田農業経営確立対策推進協議会において議決されました。

内容としては、村の振興作物である、いんげん・ブロッコリー・かぼちゃ・リンドウ・レタスの5品

目に対し出荷を目的に10 ㍊以上作付、ソバについては30 ㍊以上作付した場合に、それぞれ10 ㍊当たり1万5千円の助成。また、野菜と花きの50 ㍊以上の団地を形成し、出荷した者に対しては10 ㍊当たり3万円を助成します。ただし、ブロッコリーだけを、50 ㍊以上を団地化した場合には10 ㍊当たり5万円を助成する内容です。

新規作物栽培 実証事業

おしらせ版等で村民に



▲「たらの芽」の芽出し作業

周知した結果、6月5日現在で30人程の申請がありました。

「たらの芽」は新種である「あすは」を2、500本ほど購入し、現在農家に芽出しを依頼しています。委託農家には8月配布予定です。

銀杏、ブルーベリーは、村の環境に合った種苗を確保するためには、苗が注文生産になるため、現在手配中、来年3月頃に配布予定です。

ふきは、市販されている栽培用ふき苗が不足して確保が出来ない状態であり、県の農業普及部と協議しながらどのように推進するか検討中です。

畜産

BSEの発生以来、子牛価格が低迷していましたが、昨年の8月から現在まで、本宮セリ市場での子牛価格の平均が40万円を超す高値取引となっ

ており、完全にBSEの影響は回復されたものと考えています。

振興公社

過日に理事会が開催され14年度の決算状況について報告されました。

肥育事業は、BSEの影響で昨年の7月頃まで枝肉価格が低迷していましたが、それ以降は回復しています。しかし、前期の価格の下落と消費税未申告にかかる分の納入により、赤字決算となっています。

受精卵移植事業は、獣医師の病氣入院より、移植件数227頭、採卵回数57回と昨年よりを大幅に下回っていますが、受胎率は52・9%と今までにない高い受胎の状況になっています。

ほんの森事業は、対前年比106・7%の売上であり、売上目標額を上回ることが出来ました。

飯館楽園株式会社経営ですが、村の会計年度にあわせた経営年度に変更した関係で、6ヶ月分の第11期定時総会が過般開催されました。特に、ステーキハウスについては冬期間の営業だったこと、材料である牛肉の高騰などが響いて残念ながら大幅な減益決算となっていました。依然として厳しい経営環境ではありますが、きこり増築・コテージの設置など経営上プラスとなる素材が増えますので、少しでも収益増につながるよう大いに奮起を期待するものです。



▲新たに建設された「きこり別館」



▲今年設置された「愛の句碑」

愛の句碑 づくり事業

平成14年度入選句50句の設置作業を終えました。今年の園遊会は、句碑の設置箇所が、「きこり別館」の周辺だったことから、工事の竣工後に開催します。工事は6月中旬に完了したので、施設の御披露目も兼ね、7月12日に「園遊会」を開催予定です。また、最終年度を迎えた今年度の作品募集を7月1日から始めます。

そば焼酎 「山中郷」

製品化を進めていた「そば焼酎」が6月15日から、7月上旬発売をめぐして予約受付を開始しています。村の新たな特産品になることを期待しています。(7月1日で予約完売しました。)



▲「山中郷」

障害者支援費制度

4月より新たに始まった身障者及び知的障害者のための「支援費制度」ですが、村での5月1日現在の申請件数は、身障者23人、知的障害者19人の合わせて42人となっています。

なお、対象者には制度についての事前説明を行

い周知していますので、現在のところ苦情等は出ていませんが、さらにPRに努め遺漏のないよう対応していきます。

いいたてホーム 増築工事

「いいたて福祉会」からの報告では、県営繕課による設計審査も完了し、6月に入札を行いました。なお、業者の選定及び入札執行等の手続きは、「いいたて福祉会」が行っています。

やまゆり保育所

5月1日現在の入所状況は27人です。今年4月1日から0歳児保育を始めましたが、3人定員に對し2人が入所しています。なお、6、7月の入所予約数を合わせると8月には33人になる見込みで、施設の規模並びに保育の環境を考慮すると33



▲やまゆり保育所の子供たち

人が限界と考えています。従って、今後退所者が出ない限り入所できない状況なので、新規申込者には事情を申し上げ、一時待っていただくことになるとかと思っています。

つくしんぼハウス

6月1日現在の入所状況は17人です。昨年は平均7人なので大幅な増です。入所数が17人となったことで既存の施設が手狭となり、今後さらに申し込みが増える場合は、新たな場所の選定と職員増も検討しなければなら

産業廃棄物 処理施設

(有)福島農林から相双地方振興局に最終処分場の増設計画書が提出され、3月末に同計画について振興局から意見を求められています。計画では、現在の安定型最終処分場に隣接し、埋め立て範囲を拡大するもので、埋め立てる廃棄物の種類は、廃プラ、金属くず等の安定5品目です。現在、意見書提出の準備を進めており、今月末までは提出する予定です。

次に、東北産業(株)が平成8年5月に設置許可を受けていた小宮地内の管理型最終処分場について、今に至っても建設工事を行わず、資金計画等具体的な書類も提出されていないとして、相双地方振興局は4月28日付けで当該施設設置の許可の取り消し処分をしています。

ごみ収集の状況

平成14年度は、可燃ごみは232・8tで、前年度より38・1t増、不燃ごみは84・7tで、前年度より21・1t増となっています。これは昨年12月から焼却炉の構造基準が改正されたことによるものと考えています。

また、リサイクル品では、ペットボトルが約28%増、紙類が約16%増、缶類とびん類は前年度とほぼ同様となっており、全体で307・5t回収しています。

地球温暖化対策

村では、3月末に庁内の取り組みによりエネルギー使用の削減、省資源、環境配慮製品の使用等を推進する「飯館村地球温暖化対策推進実行計画」を作成しました。平成13年度の二酸化炭素排出量を平成19年度までに5%

減らすことを目標に、全庁あげて対策を推進し、目標達成に努めます。

教育

4月30日、飯樋小改築事業の安全祈願祭が現場で行われました。平成16年3月竣工に向け予定通り遂行中です。

5月25日には、村内3小学校の運動会が行われました。臼石小学校では、今回初めて学区内の4行政区との合同運動会が盛大に開催されました。学校と地域の連携が、一層強まることを期待します。

合宿通学は参加児童合計が85人となり、昨年より18人多い参加となりました。この合宿通学が子供たちの成長に大きな効果があるものと期待しています。平成14年度の学力検査の結果が3月末に公表されました。福島県



▲学校と地区が一緒になった臼小運動会

は小学校が全国平均を上回っており、中でも相双管内は県内の上位をしめ、本村においても小学5年生が全国平均を上回るなど、本村小学生の学力も総じて遜色はありません。これだけの判断は早計と思いますが、少なくとも「本村の児童生徒の学力は全国平均を大きく下回っている」という、従来の思いは払拭してよいと考えています。

社会教育

恒例の村スポーツ少主催のはやま湖駅伝が4月29日に実施され、27チームが参加し、新記録が出るなど白熱した大会となりました。

3年目のIT講習会は5月26日より開講しています。応募状況が多く村民のITへの関心の高さが伺えます。前期分として8月17日まで、昼・夜間と21講座を計画しています。

第41回村民球技大会は6月8日に実施、健康増



▲はやま湖駅伝

進・体力向上はもとより、地域での親睦が図られた大会になりました。

振興公社の消費税無申告問題

3月議会で業務執行のあり方に対して厳しいご指摘を頂きました。係る事態を真摯に受け止め、大いに反省しています。

振興公社においては、事務方の責任として村との兼務職にある3人と振興公社職員の1人を文書訓告処分、理事の道義的責任として花いつぱい運動の仮植奉仕作業実施を決定した旨の報告がありました。

村においては、平成7年から振興公社にかかわりのあった職員3人について文書訓告処分、1人について口頭注意を行い、猛省を促したところです。今後はこのようなことが無いよう、充分注意したいと思っています。